

第27回北海道法人会青年の集い釧路大会経過報告

開催日 平成30年6月22日(金)
開催場所 釧路センチュリーキャッスルホテル
参加人数 来賓招待者39名 参加人数330名 一般参加者20名

第27回北海道法人会青年の集いは平成30年6月22日(金)釧路センチュリーキャッスルホテルにおいて全道30法人会青年部会より330名(道外13名含む)、来賓招待者39名が出席し開催された。

第1部大会式典では玉川青連協会長より「法人会青年部会は次の世代の子供たちに未来を渡すため、税の使途を含めた租税教育を行動に移し、継続していかなければなりません。」と挨拶があり、その後、札幌国税局相良課税第二部長、釧路総合振興局築地原局長、道法連中井会長より祝辞を頂いた。

また、租税教育活動の参考事例として第31回法人会全国青年の集い高知大会での租税教育活動プレゼンテーションで奨励賞を受賞した深川・富良野・留萌地方法人会青年部会「小規模単位会の挑戦～小さくたって出来るんだ!～」、最優秀賞を受賞した福岡県連直方法人会青年部会「税に込められた想いを伝える租税教育」活動事例を披露した。

第2部記念講演会では環境省釧路湿原野生生物保護センター・猛禽類医学研究所代表の齋藤慶輔氏より「自然界で今まさに何が起きているのか、保護した野生動物からのメッセージを探っている。人間社会との共存について考えてほしい」と講演があった。講演の最後に同研究所で保護されたシマフクロウが登場、参加者は興味深く観察していた。

第3部懇談会はサックス奏者の演奏や抽選ゲーム等で参加された部会員は終始楽しみながら交流を深めた。



大会式典会場

第1部 大会式典 14:30～15:40

1. 開 会
2. 国歌斉唱
3. 式 辞 北海道法人会連合会
青年部会連絡協議会 会長 玉川裕一
4. 来賓紹介
5. 来賓祝辞 札幌国税局 課税第二部長 相良二三男 様
北海道釧路総合振興局 局長 築地原康志 様
北海道法人会連合会会長 中井千尋 様



玉川青連協会長式辞



国税局相良部長祝辞



釧路総合振興局築地原局長祝辞



道法連中井会長祝辞

6. 祝電披露

7. 平成30年度法人会全国青年の集い高知大会
租税教育活動プレゼンテーション

【小規模単位会の挑戦 ～小さくたって出来るんだ！～親子税金クイズ（市長は君だ！）】

奨励賞 深川・富良野・留萌地方法人会

対象 小・中・高校生及び保護者

参加 114名

少人数・低コストでもイベント会場等で手軽にできる租税教育活動として税金クイズを実施。

「もし自分が市長なら税金をどのように予算付けしたいか」をテーマにアンケートを実施し、その結果をホームページやフェイスブックで公開。参加者には地元の特産品を贈呈。



租税教育事例発表する
留萌榎井部会長

【税に込められた想いを伝える租税教育活動】

最優秀賞 福岡県連 直方法人会

対象 小学3～6年生 中学1～3年生 高校2年生

参加 小学生412名 中学生327名 高校生229名

10年に渡る活動の末辿り着いた、本当に伝えたい事は税の本質は「思いやりの心」であること。

「税金は誰かを大切に想う気持ち」を合言葉に、税に込められた想いを伝える一連の租税教育活動を展開。イベントでは、自作自演の劇や自衛隊等の見学で税の大切さを伝えた。小中学向け租税教室は講師毎に異なる内容で、高校生には恩恵を受ける側から支える側となり、税を活躍させるため、選挙権の行使が必要であることを伝えた。



直方法人会租税教育事例発表

8. 次回開催地挨拶 第28回北海道法人会青年の集い
北見地方法人会青年部会

9. 大会宣言 第27回北海道法人会青年の集い
釧路大会実行委員長 鈴木雄一郎

10. 閉会



次回開催地挨拶(平成31年6月22日北見市で開催)

第2部 記念講演会 16:00～17:30

テーマ 「多様な自然環境との共生」

講師 猛禽類医学研究所代表

獣医師 齊藤慶輔氏



保護されたシマフクロウ



記念講演会講師 齊藤氏

第3部 懇談会 18:30~20:00

1. 開会挨拶 (公社)釧路地方法人会 青年部会 部長 村上祐二
2. 来賓挨拶 釧路市 副市長 岩隈敏彦 様
釧路税務署 署長 佐藤信一 様
(公財)全国法人会総連合 青年部会連絡協議会 会長 中村一朗 様
3. 祝 杯 釧路商工会議所 副会頭 濱屋宏隆 様
4. アトラクション
5. 閉会挨拶 北海道税理士会釧路支部 副支部長 岩村史人 様



懇談会 釧路村上部会長 開会挨拶



懇談会 全法連青連協中村会長
来賓挨拶



アトラクション (サクソ演奏)



ダービーゲーム開会式



盛り上がったダービーゲーム



物産展での抽選くじ



大賑わいの物産展会場



野生動物保護のため寄付金を集め釧路
湿原野生生物保護センターへ贈呈



懇談会全景

第27回北海道法人会青年の集い釧路大会 大会宣言文

きゃつかしやうこ
「脚下照顧」

～今こそ見詰め直す刻～

我が国の経済は、雇用環境や所得環境の改善により緩やかな回復基調が続いており、景気回復期間は「いざなぎ景気」や「バブル景気」を超える長さになったと言われております。2020年には多くの国民が待ち望んでいたオリンピックが東京で開催することになり、景気回復の勢いが更に強まると確信致します。

我々の母なる大地「北海道」もまた観光関連の需要を中心に、より一層の経済成長が見込まれていることから、この流れに乗って道内各地方都市も発展を遂げることが期待されているところであります。

雄大な自然と希少価値の高い動植物を有する北海道の一都市である釧路においても、釧路湿原や阿寒摩周の二つの国立公園を有し、特別天然記念物のタンチョウや阿寒湖のマリモと地域資源にも恵まれており、北海道三名橋の幣舞橋から望む美しい夕日は、世界三大夕日の一つに数えられております。新鮮豊富な食材と冷涼な気候と積雪量の少なさから長期滞在者が年々増加傾向にあることから、住みやすい街としても名を馳せており、豊かな自然が織り成す様々な資源の恩恵をうけているまちと言えます。

我々の愛する地域が北海道と共に発展を遂げる為には、今一度「脚下照顧」、足元を見詰め直すことが必要ではないでしょうか。四季折々の自然が、食や観光をはじめ様々な経済活動にも大きく寄与している事に慣れることなく、自然によって生かされている事を見詰め直し、以下の活動に邁進しなければなりません。

一つは、自己の企業の発展はもとより社会的な責任と自覚を持ち、知識と実力を兼ね備え地域に貢献していくこと。そして二つ目は、次代を担う子供たちに対して、国を支える核となる納税意識の高揚や税知識の普及啓蒙を地域社会と密着し推進することが必要です。

多様な資源と共生するまち釧路に集いし我々が、愛する地域そして北海道が未来へ向けて更なる発展を続けるために、全ての事柄に対し足元を見詰め直し本質を捉え、会員相互の緊密な連携強化と租税教育の重要性を力強く発信していくことを第27回北海道法人会青年の集い「釧路大会」において宣言します。

平成30年6月22日

第27回北海道法人会青年の集い釧路大会

